

話す、つながる、みんなの時間



今月のテーマ

七五三の思い出

📖 今となっては笑い話

もぐ

今は中学生になった息子の七五三。5歳でも著しく落ち着きのなかった息子は、神事の間、静かに座っている2歳児に横目でチラチラ見られながらぐずり続け、他のご家族にお願いして家族写真を撮ろうとしたら、千歳飴を放り投げて逃走し爆笑されました。恥ずかしいやら情けないやらで、神妙な気分が吹っ飛んだのを鮮明に覚えています。

📖 気分はプリンセス

ものの木

20年前、七五三の記念写真でドレスを着ました。昔からディズニープリンセスが好きで、ドレスを着てヘアメイクをしてもらい、それはもう夢のような一時でした。私にも娘ができ、将来、七五三の写真でどんな衣装を選ぶのか今からワクワクしています。

📖 このまま内緒で

じゅんこママ

子どもたちのアルバムを見ると、長男、次男はちゃんと羽織袴の正装で、写真屋さんで撮った立派な写真がある。さて三男、えっ…ない！この事実、三男はまだ気づいていない様子。どうかバレませんように…（しかし三男もすでに25歳。時効よね）。

📖 真夏の七五三

ココット

夫の仕事の都合で4人の子どもと5年間ベトナムで暮らしていたわが家。5年の間に子どもたちは次々に七五三を迎えました。本来なら11月に家族揃って神社にお参りしたいところですが、飛行機代が高くつくので日本に帰るのは年に1回だけ。なので、わが家での七五三

は暑い日差しの下でのお参りでした。もちろん着物なんて着られるはずもなく、襟つきの服装をさせるのが精一杯。日焼け止めを塗って汗だくです。それでも神社に申し込むとちゃんと祝詞を上げてくださり、家族揃って写真撮ることもできました。日本で暮らす今では、真夏の七五三も良い思い出です。

📖 ひいおじいちゃんは神主様

うるにやん

長女が3歳になり、七五三のお参りをする事になりました。地域内に神社はありましたが、小さなお社で、神主さんは常駐していません。お参りだけするのかな、と思っていたら、ひいおじいちゃんが神主をすると言うのです。どういうこと!? 実は、地域内の氏子の中に神主として務められる人が何人かいて、ひいおじいちゃんもその内の1人だったのです。ひいおじいちゃんが、ひ孫のために祝詞を上げてくれました。田舎のあるある話なのでしょうが、びっくりでした。今は亡きひいおじいちゃんに^{ことほ}でもらった、良い思い出です。

📖 お客様は神様です

京西マチ子

壇上で神主さんの言葉通りにしっかりとお祓いを受けていた5歳の孫。神主さんが「それでは神様におじぎをしてください」と言われると、下段の椅子席で見守る私たちの方に向き直り、にっこり笑って深々とおじぎをしてくれました。神様を「皆さま」と聞き違えた? 神様がどこにおられるのか分からなかった?

育てるって、すてき。



野生動物にご注意を①

上村容子

自宅の庭でぶどう（巨峰）ができました。色づく手前でハクビシンに食べられてしまい、悔しいです。



鷹羽敏子